

Schulz先生 プロフィール

ウィーン交響楽団のソロフルート奏者として意欲的な活動を行う世界的なフルート奏者。ソロフルート奏者、そして室内楽演奏者として世界各地で演奏し、ザルツブルグ音楽祭、ウィーン芸術祭、シュレースヴィッヒ・ホルシュタイン音楽祭、ラヴェンナ音楽祭、ルツェルン国際音楽祭など数々の音楽祭に若いころより出演。ヘルムート・ドイチュ、エリザベス・レオンスカヤ、アンドラーシュ・シフ、シュテファン・ヴラダーなどのピアニストとリサイタルを行う。1983年以来、ウィーン交響楽団とベルリン交響楽団よりソリストを選出した「アンサンブル・ウィーン=ベルリン」のメンバーとして活動中。

レパートリーはバロック音楽から現代音楽まで幅広く、クラウディア・アバド、レナード・バーンスタイン、カール・ベーム、ロリン・マーゼル、ズービン・メータ、小澤征爾、アンドレ・プレヴィンなど著名な指揮者と世界中のほぼすべての音楽主要都市にて演奏。特にオーストリアの現代音楽作曲家の作品に深い興味をもちフリードリヒ・チェルハ、ヘルムート・エーダー・イヴァンエロード、エーリヒ・ウルバンナー、ヘルベルト・ヴィリ等の作曲家たちから作品を献上された。

録音作品はWiener Flotenuhr（ウィーンフレーテンウーア）、Edison-Preis（エディソン・プライス）、フランス・ディスク大賞、ディアパソン金賞などの賞を受賞している。

この10年間はフランスのルールマランで自身の主催するクラシック音楽祭である「ボヌールミュージカル（Bonheur musical）」で音楽監督を務めている。

1979年よりVienna University for Music and Fine Artsで教鞭をとっている。彼はその莫大な経験と音楽に対する情熱によりフルート教育の中で最重要人物の一人とされている。加えて世界各地でマスタークラスも行っている。